会 議 録

会 議 名	藤井寺市立幼稚園・保育所再編実行計画（後期計画）（案）説明会
日時・場所	令和7年2月10日（月）19時～20時30分 本庁3階305会議室
出 席 者	こども未来部 こども施設課 井口課長、西野主幹、大塚主査
対 象 者	対象者を限定していない。（当日受付22名）
説 明 内 容	藤井寺市立幼稚園・保育所再編実行計画（後期計画）（案）について、広く市民の皆様に対し、計画の要旨、事由、概要等について説明を行った。
資 料	○次第 ○藤井寺市立幼稚園・保育所再編実行計画（後期計画）（案）
要 録	
	<p>（こども施設課長挨拶）</p> <p>こども施設課より、藤井寺市立幼稚園・保育所再編実行計画（後期計画）（案）について説明</p> <p>以下、質疑応答及び意見表明</p> <p>※ 保護者の声を聴く必要があるが、今回の説明会は計2回で、市民の声が十分届かない中で進められているように感じる。 人口減少・若い世代の流出は保育所・幼稚園だけの問題ではなく、市として、職員も私たち市民も含めて考えなければいけないと思っている。 財政が厳しいという理由で直ちにこども園化に繋げるのはいかなものかと思う。答申に記載のように、保育士と保護者の対話が十分にできない状況が今あると思う。子どもたちのために働いておられるがその保育士が少ない。藤井寺市の保育士の給料が他市に比べてあまりにも少ないので、他市に就職するというこの問題を解決しない限り、保育士はどんどん他市に流れていくと思う。</p> <p>※ 幼保連携型認定こども園になった場合、保育時間や休園日はどうなるのか。</p> <p>こども施設課 道明寺こども園では、1号認定こどもは預かり保育で延長される方もいるが、基本的には午後3時に降園いただき、長期の休みがある。2号・3号認定こどもは、最長で朝の7時から夜の7時まで過ごし、長期の休みもなく、土曜日でも登園可となる。</p> <p>※ 道明寺こども園の検証結果について、マイナス面があるということをもっと大事</p>

<p>こども施設課</p>	<p>にしないといけないと思う。規模が大きく園児数が多くなると、先生たちの目が届きにくくなる点もあると思う。こども園を基本に考えるのではなく、こどもの立場で保育が良くなるという方向で計画して欲しいと思う。</p>
<p>※</p>	<p>民間幼稚園では、多くのこどもをバスに乗せているのを見る。ずっと幼稚園の3歳児保育が実現していないこともあり、なぜ幼稚園の利用児童数が減少し、統廃合しなければならない状況になったのかを聞きたい。</p> <p>施設を3園以内にまとめると、1つの施設に多くのこどもが集中し、弊害が出る。道明寺こども園では、保護者との意思疎通とか、保育士の声でも、こどもと保護者の顔や名前が覚えられないという状況がある。場所が未定の状況の中で、どのようなイメージで再編されるのか。</p> <p>私たちが子育てをしていた頃は、藤井寺市は各小学校区に1つ保育所があることが魅力で市外からの転居も多くあった。老朽化を理由に統廃合していくというのは本当に残念なことである。近くに保育所・幼稚園があると本当に子育てをしやすいし、人口増にも繋がると思うし、市が発展する大きな要因になると思う。そのあたりはどう考えておられるのか聞きたい。</p>
<p>こども施設課</p>	<p>保護者が就労等により長時間預けられる保育所・こども園のニーズが増加している一方で、幼稚園のニーズが減っていることが原因と考えている。3歳児保育については、保育室の確保、待機児童が出ている中での人員不足といった課題があり、民間幼稚園の経営への影響も一定考慮に入れる必要があると思う。</p> <p>再編のイメージについては、後期計画では、現状具体的な再編の検討ができていない状況にあるので、これから詳細な検討をしていくということがお答えになる。</p> <p>昔は地域のコミュニティが今以上にあったが、今では共働きが多くなり、こどもが公園へ行っても一緒に遊ぶ子がいないというような時代になってきている。認定こども園などで子どもをお預かりする中で、集団で様々な経験をしてもらうということが必要であると考えている。</p>
<p>※</p>	<p>道明寺こども園開園当時から多くの問題があると思っていて、それは今もあまり変わっていない。結論が決まっていたのではないか。推進本部の評価について、どう検討し結論を出したのか、納得がいかない。</p> <p>全ての小学校区に公立保育所があるということは藤井寺市の保育の素晴らしい点とってきた。市長も「子育てするなら藤井寺」とおっしゃっている。人口</p>

	<p>減少するとばかり言われているが、子育てがしやすければもっと人が増えると思うので、もう少し考えてほしいし、3園などというのはいかがなものかと思う。</p> <p>道明寺こども園は、初期は、幼稚園と保育所が別々に一つの建物で同居していた時期もあった。「保育所」「幼稚園」という概念ではなく、「同じ施設のこどもたち」という考えで新しいものを作っていこうということで認定こども園に移行し、丸2年経過しようとしている中で、少しずつ先生方もアップデートしている。保護者アンケートも2回取らせていただき、概ねご満足いただけていると考えている。道明寺こども園は藤井寺市の中で一番大きい施設になっており、施設規模については検討部会でも議論があったので、それを超えない規模と記載している。大学の先生方、子ども・子育て会議の委員の方、公立園の先生に参画いただき、それぞれの立場で検討していただき、最終的に「認定こども園が望ましい」という答申に至ったということだと思っている。</p> <p>藤井寺市は比較的人口減少が緩やかであるものの、全国的に人口減少は避けられず、今後緩やかに減っていくというのを想定しながら施設を維持管理運営していかざるを得ないと考えている。人口減少を食い止めるためにどうすればよいかは、市全体で考え、取り組んでいかなければならないと思っている。</p> <p>※ 教育利用ニーズについて、公立園の場合、4歳・5歳児のことか。3歳児の1号認定の利用ニーズは把握されているのか。藤井寺市の公立では3歳児保育をしていないので、3歳児から1号として集団保育を受けたいと考えると他市ということになると思うが、そういったニーズの把握はされているのか。</p> <p>幼児集団の形成過程と共同性の育ちに関する研究が記載されているが、平成23年度の調査で少し古いのではないかと思う。</p>
こども施設課	<p>3歳児保育をされている民間園の入園数は把握している。市外についてもおおよそ把握している。近隣市においても3歳児保育が幼稚園の園児数が増える起爆剤になっていないという話も聞いている。</p> <p>幼児集団の形成過程と共同性の育ちに関する研究について、平成23年度の調査であり少し古いと思う。最近の調査結果があればそちらを掲載したいと我々も考えるが、最近の調査結果がなかったので、一つの目安ということで掲載している。</p>
こども施設課	<p>※ 今後、施設の再編により小規模な園に通っていたこどもが、大規模な園に通うことになる子どもたちの負担が増えてくると思うので、カウンセラーの先生に来てもらうなどを念頭に置いてほしいと思う。</p> <p>検討部会もこどもの負担への配慮という目線で見られる方も出席いただける体制を取って欲しいと思う。</p> <p>子どもの気持ちの部分のケアなどはしっかりやっていかないといけないと考えている。</p>

	<p>※ 再編に関して、道明寺こども園も含めて3園なので、実質、残りの保育所と幼稚園を最大2園にまとめる話と思う。第3保育所の周辺に1つ建てるのだろうというのうかがえる内容になっていると思う。南西地区は待機児童が出ていることに加え、周りの地区のこどもたちも集まってくるということになる。現状、第1保育所と第3保育所は大規模でたくさんのこどもが通っていて、第3保育所あたりに建築されるであろう新しい認定こども園が道明寺こども園と同程度の規模ということは、大幅に定員が変わるわけではないのかなと思っていて、人数のバランス的に無理ではないかというのが気になっている。</p>
<p>こども施設課</p>	<p>具体的なお答えができれば良いが、現時点でどの園ということが決定していないので、地域性や施設の老朽化状況を考慮に入れ、バランスを取りながら再編を進めるとさせていただいている。人口減少に伴い、保育ニーズも減少していくのではないかというのが、第三期藤井寺市子ども・子育て支援事業計画の見立てになっているが、実際の保育ニーズがそのとおり推移するのかということも見ながら、今後さらに検討することになる。</p>
<p>こども施設課</p>	<p>※ 検討部会で様々な立場の方が参加されているが、保護者や保育士の生の声をもっと聞いてほしい。急がずにもっとゆっくり考えて、こどもたちのために進めていくって欲しいと思う。昔は小学校区ごとに施設があったのが魅力だったので、保育所がそうであれば、若い人たちが集まってくると思う。</p> <p>認定こども園移行の効果検証で、保護者の意見として参観や懇談、保護者参加のあり方が変わったなどと書かれていて、やはり規模が大きくなったら子どもの把握が難しくなり、保護者との対話などがスムーズにできないと思う。保育所と幼稚園が3園以内になれば1園あたりの人数がもっと増えるので、現状の施設数のままでの耐震を強く求める。</p> <p>前期計画策定後から相当時間が経っていて、後期計画策定が遅れているという意見も受けている。様々な意見を踏まえながら進めていきたいと考えている。効果検証の保護者との対話の点について、詳細な検討をする段階ではそのあたりも踏まえながら進めていかなければならないと考えている。耐震状況については、第5保育所が耐震補強とは異なる手法による耐震シェルター化となっていて、他の園は、耐震化は完了しているがかなり老朽化が進んでいる。保育所はほぼ休みがない施設になるため、現地で建て替えをするのが困難である。</p> <p style="text-align: right;">【要点筆記】以上</p>